

## 『大好きな本との出会い』

爲貝真由美

「趣味：読書」と書くのがためられるほど最近はずっと本を読む時間が減ってしまいました。それでもやはり「読むこと」は楽しく、絵本や児童書にはついつい手を伸ばしてページをめくっています。自分が「好き」と思う本を読むことはたとえ睡眠時間が削られても苦痛にならないから不思議です。

読書の大切さが叫ばれて久しいですが、読書が好きになるきっかけは「お気に入りの本」と出会うことではないかと思います。一冊の大好きな本との出会い、同じ作者の本を読んでも、好きな挿絵画家の本を手にとってみる、そうしてまた、次につながれば本との出会いが広がります。「がまくんとかえるくん」シリーズを書いたアーノルド・ローベルには私も子どもたちもすっかりはまってしまい、図書館で同作者の本を何冊も借りました。そして特に気に入った「がまくんとかえるくん」シリーズと「ふくろうくん」は今では自宅の本棚に並んでいます。

また、幼稚園に通う下の子はお遊戯会で「おおかみと7ひきの子やぎ」を発表したのがきっかけでしばらく「やぎの本、やぎの本」と図書館で同じ本ばかり借りていました。たまたま最初に自分でつけたのが「こどものとも」という雑誌の「おおかみと…」だったのですが、落ち着いた色調のリアルな挿絵の本でしたので、時々「ほらこっちにもやぎの本があるよ」とかわいい挿絵の「7ひきのこやぎ」を勧めても、「あれ、ちょっと違うな」なんて言いながらやはり選ぶのはいつもの「落ち着いた」「7ひきのこやぎ」。小さな子どもといえども好き嫌いの好みがあり、幼い子はかわいい絵本、という先入観もあてにはならないと実感しました。そしてたくさんの本の中でくらべたり選んだりしながら好きな本を見つけられる図書館のありがたさを感じました。

百ます計算で有名な陰山英男先生が毎日小学生新聞に寄せた文の中に「図書館では一度にたくさん本を借りてくる。そんなに一度に読めないと思うでしょうが、その中に必ずおもしろいと思える本があるはず。すると、自分の好みが出てくる。そして、生活の中に読書の習慣が根付き、様々な情報が入り、様々なことに興味を持ち、自分の世界が広がる。」というようなことが書いてありました。まずはたくさんの本と出会うことが大事なのです。お遊戯・教科書・

テレビ・読み聞かせ…、いろいろなきっかけの中から自分の好きな一冊を見つけられたらいいなと思います。たくさんのよき出会いのある春でありますように。

## 5月の予定

●おはなし会 午後3時から 児童室にて

5月13日（日）

『ぼくがいちばん！』  
『はけたよ はけたよ』

5月20日（日）

『せんろはつづく』  
『うきわねこ』

## ●リサイクル本の無償配布

明野図書館では、図書館リサイクル本を、希望者に無償でおわけいたします。

日時：5月3日（木）～5日（土） 午前10時～午後5時まで

※無くなり次第終了します。

場所：明野図書館

リサイクル本の種類：雑誌

## ●視聴覚資料の取り扱いについて

視聴覚資料は、壊れやすいので大切に扱きましょう。CD・DVD・ビデオ・カセットテープは、破損の恐れがありますので、必ず、借りた館のカウンターまでご返却ください。

## 図書館カレンダー

5月 MAY						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

【開館時間】  
午前10時から  
午後6時まで

■は休みです。

6月 JUN						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30